中国・四国地方

名前

問1　兵庫県神戸市と淡路島を結ぶ世界最大級の吊橋である明石海峡大橋の開通によって、徳島県と関西圏の間の交通は劇的に変化しました。この橋が1998年に開通した後の統計で見られる、正しい変化を選びなさい。（2024年 埼玉県公立入試 類似）

1. トラック輸送のコストが上昇したため、貨物船による物資の輸送人数が大幅に増加した。
2. 淡路島を経由する鉄道が開通したため、大阪方面への通勤・通学者の輸送人数が増加した。
3. 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。
4. 神戸・徳島間のフェリーの所要時間が短縮されたことにより、旅客船の輸送人数が過去最高を記録した。

問2　高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。
2. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。
3. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。
4. 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。

問3　中国地方に位置する広島県の農業の特徴について、産出額の構成比から読み取れる状況として最も適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. レモンなどの果実の生産割合が最も高く、産出額全体の過半数を超えている
2. 野菜の生産割合が最も高く、産出額全体の約4割を占めている
3. 平野部での米作りが中心であり、米の産出額が他の品目を圧倒している
4. 広大な土地を利用した肉用牛の飼育が盛んで、畜産の産出額が最も高い

問4　中国・四国地方の中央部に位置する瀬戸内海沿岸において、大規模な石油コンビナートが形成され、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋などのインフラが整備された背景として、地理的条件から説明したものとして適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. リアス海岸による複雑な入り江が多く、天然の良港として古くから製鉄業が独占的に発達したから
2. 広大な砂丘や平坦な土地が海岸線まで続いており、大規模な工場用地の確保が容易であったから
3. 日本海側からの季節風によって大量の降雪があり、豊富な水資源を工業用水に転用しやすかったから
4. 季節風の影響を山地が遮るため波が穏やかであり、大型船の接岸や海上交通に適しているから

問5　高速道路や新幹線などの交通網の整備が地域社会に与える影響について、「時間距離」という用語を用いて説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）

1. 情報通信技術の発達により、瞬時に情報を伝達できる仕組みを時間距離の短縮という。
2. 交通機関の高速化によって目的地までの移動時間が短くなることを、時間距離の短縮という。
3. 目的地までの最短ルートを整備し、地図上の直線距離を短くすることを時間距離の短縮という。
4. 移動にかかる費用を削減し、安価に遠方へ行けるようにすることを時間距離の短縮という。

問6　広島県における2006年から2015年の市町村別人口動態の調査では、県北部の内陸部に位置する市町村で、7.6%を超える顕著な人口減少が確認されています。このような高い減少率を示す地域に共通して見られる地形的な特徴として、最も適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形
2. 大規模な稲作や工業用地に適した広大な平野
3. 火山の噴火によって形成された平坦な台地
4. 土砂の堆積によって作られた生活に便利な三角州

問7　2015年度の統計において、東京との間の移動手段の利用割合を調査したところ、航空機が35.8パーセント、バスが5.0パーセントであるのに対し、鉄道が59.2パーセントと半数を超えている県があります。このデータが示す県として正しいものを次から選びなさい。（2018年 愛媛県公立入試 類似）

1. 福岡県
2. 岡山県
3. 北海道
4. 沖縄県

問8　四国地方では2010年時点で、野菜が農業産出額の3割以上を占める主要な品目となっています。特に高知県の平野部で、黒潮（日本海流）の影響による温暖な気候を活かし、ビニールハウスなどを用いて出荷時期を早めることで高い収益を得る栽培方法を何といいますか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 促成栽培
3. 近郊農業
4. 二毛作

問9　高知県では、沖合を流れる黒潮の影響を受けた温暖な気候を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いてナスなどの野菜を栽培しています。このように、他の産地と出荷時期をずらし、通常の収穫期よりも早く栽培して出荷する農業の方法を何といいますか。（2017年 徳島県公立入試 類似）

1. 抑制栽培
2. 促成栽培
3. 二毛作
4. 有機農業

問10　中国地方に位置する鳥取県は、4つの県と境界を接しています。これらの隣接県に関する統計において、面積が約7,114平方キロメートル、自家用乗用車の保有台数が100世帯あたり136.0台と示される県があります。この県には、他の隣接県である島根県（石見銀山）や兵庫県（姫路城）、広島県（厳島神社・原爆ドーム）とは異なり、現在世界遺産が登録されていません。この県はどこですか。（2024年 鳥取県公立入試 類似）

1. 島根県
2. 兵庫県
3. 岡山県
4. 広島県

問11　愛媛県において、米や野菜など他の農産物に比べて、みかんなどのかんきつ類を含む「果実」の生産が非常に盛んである理由として、地理的な環境の観点から最も適切な説明はどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 広大な平野を活用し、大規模な機械を導入することで効率的な生産が可能になったため。
2. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に大量の水を必要とする果実の栽培に適しているため。
3. 冷涼な気候を活かして、他の地域では栽培が難しい高冷地野菜を生産しているため。
4. 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。

問12　中国地方の日本海側に位置する島根県について、陸上で境界を接している都道府県の数と、その具体的な県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 3県（岡山県、広島県、山口県）
2. 4県（鳥取県、岡山県、広島県、山口県）
3. 3県（鳥取県、広島県、山口県）
4. 2県（鳥取県、山口県）

問13　中国・四国地方の気候区分において、日本海側の地域（松江など）で12月から2月の冬季に降水量（雪を含む）が多くなり、約400mmに達する主な理由は何ですか。（2021年 埼玉県公立入試 類似）

1. 北西からの湿った季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかるため。
2. 梅雨前線や台風の影響を強く受けやすく、夏から秋にかけて湿った空気が流れ込むため。
3. 南東からの湿った季節風が太平洋から吹き込み、四国山地にぶつかるため。
4. 周囲を高い山に囲まれた盆地状の地形で、上昇気流が発生しやすいため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 200万人以上いたフェリー・旅客船の輸送人数が、数年で50万人以下へと激減した。	本州四国連絡橋の神戸・鳴門ルートが完成したことにより、徳島県と関西方面の移動は自動車やバスが中心となりました。開通以前の1997年までは年間200万人以上いた海上交通の利用者は、開通の翌年以降に急激に減少し、2000年代には50万人を割り込む水準まで落ち込んでいます。これは、陸路の整備が既存の海上交通網に与えた影響の大きさを明確に示しています。
問2	答え 2 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。	高知県は、南部の高知平野を中心に、黒潮がもたらす温暖な気候を最大限に利用しています。冬でも暖かい気候を活かし、ビニールハウスなどでピーマンやなす、きゅうりなどの夏野菜を冬から春にかけて栽培し、他の地域より早い時期に出荷する「促成栽培」が行われています。この方法は、野菜の価格が高い時期に市場へ供給できるため、農業産出額を押し上げる大きな要因となっています。一方で「抑制栽培」は長野県や群馬県などの高冷地で見られる手法であり、高知県の特色とは異なります。
問3	答え 2 野菜の生産割合が最も高く、産出額全体の約4割を占めている	広島県の農業は、米の生産割合が約13%と比較的低いのに対し、野菜の割合が38.6%と極めて高いという特徴があります。これは、瀬戸内海沿岸の限られた平地や都市近郊の立地を活かして、収益性の高い野菜栽培に力を入れているためです。果実や畜産も行われていますが、産出額の規模では野菜が最大となります。
問4	答え 4 季節風の影響を山地が遮るため波が穏やかであり、大型船の接岸や海上交通に適しているから	瀬戸内海沿岸は、北の中国山地と南の四国山地に挟まれているため、冬や夏の季節風が遮られ、年間を通じて波が穏やかで晴天が多いのが特徴です。この穏やかな海域は大型船の航行や接岸に適しており、原材料の輸入や製品の輸出を行う石油化学コンビナートの発達を促しました。また、瀬戸内海を挟んだ地域間の物流をさらに活発にするために、瀬戸大橋をはじめとする本州四国連絡橋が建設されました。
問5	答え 2 交通機関の高速化によって目的地までの移動時間が短くなることを、時間距離の短縮という。	地理学における距離には、キロメートルなどの単位で表す「物理的距離」のほかに、移動にかかる時間で表す「時間距離」があります。新幹線の開通や瀬戸大橋のような大規模な橋の整備によって、従来よりも早く目的地に到着できるようになることを「時間距離の短縮」と呼びます。これにより、以前は遠くて行けなかった場所が日帰り圏内に入るなど、人々の生活範囲や経済活動の範囲が拡大します。
問6	答え 1 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形	中国地方の内陸部には中国山地が連なっており、険しい地形が広がっています。こうした地域では交通網の整備が難しく、病院や商店などの生活サービスを維持することが困難なため、都市部への人口流出が続いています。このような現象は「過疎」と呼ばれ、特に広島県北部などの山間部で顕著に見られます。
問7	答え 2 岡山県	東京から各都市への移動手段の選択には、所要時間が大きく関係しています。一般に「4時間の壁」と呼ばれ、新幹線での所要時間が4時間以内であれば鉄道が、それを超えると航空機が有利になる傾向があります。岡山県は東京から新幹線で約3時間強の距離にあり、空港への移動や待ち時間を含めた航空機との比較において鉄道の利便性が高いため、鉄道が約6割という高いシェアを占めています。これに対し、北海道や福岡県は航空機の割合がより高くなります。
問8	答え 2 促成栽培	高知県の土佐平野などでは、冬でも暖かい気候と日照時間の長さを利用し、ピーマンやなすなどの夏野菜を冬から春にかけて栽培する促成栽培が盛んです。この方法は、他の地域での生産が少ない時期に市場へ出荷できるため、四国地方の農業産出額において野菜が大きな割合を占める要因の一つとなっています。
問9	答え 2 促成栽培	高知県は冬でも温暖な気候に恵まれているため、その特性を活かして野菜の成長を早める栽培が盛んです。この方法は、他の産地が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。これに対し、長野県などの高冷地で夏でも涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問10	答え 3 岡山県	鳥取県は、東側に兵庫県、南側に岡山県と広島県、西側に島根県の計4県と隣接しています。これらの県のうち、兵庫県には姫路城、島根県には石見銀山遺跡とその文化的景観、広島県には厳島神社および広島平和記念碑（原爆ドーム）という世界遺産が存在します。面積が約7,114平方キロメートルに該当する岡山県は、これら鳥取県の隣接県の中で唯一、世界遺産が登録されていない県となります。
問11	答え 4 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。	愛媛県では瀬戸内海沿岸を中心に山地が海に迫っており、その急斜面を「段々畑」として利用しています。傾斜地は平地に比べて日当たりが良く、さらに水はけも良好であるため、甘くて質の良いかんきつ類の栽培に最適な環境となっています。
問12	答え 3 3県（鳥取県、広島県、山口県）	島根県は、東側で鳥取県、南側で広島県、西側で山口県の合計3県と陸上で隣接しています。岡山県は島根県とは接しておらず、鳥取県と広島県の南側に位置しているため、混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 1 北西からの湿った季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、中国山地にぶつかるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹き出します。この冷たく乾いた風が日本海を渡る際に、対馬海流（暖流）の影響で大量の水蒸気を蓄えます。この湿った空気が中国山地にぶつかって上昇することで、日本海側に雪や雨をもたらします。対して、太平洋側ではこの風が山を越えて乾燥した風として吹き降ろすため、冬の晴天が多くなります。